

令和6年度 第5学年「総合的な学習の時間」における評価規準

【探究課題】 稲作栽培から考える自然環境と環境問題

【単元名】 北小田んぼで環境を考えよう

【単元の目標】 校内田での米作りや環境について調べたり学んだりする活動を通して、持続可能な社会を創るために自分たちができることについて考え行動する。

【単元の評価規準】

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> (1) 体験活動や資料を通して、様々な取組やそれを支える人々の仕組みについて理解している。 (2) 様々な取組を支える組織や人々の思いや願い、工夫や努力を理解している。 (3) 自然環境は様々な要因で変化し続けていることを理解している。 (4) 活動を通して、調べたり考えたりしたことについて、相手意識や目的意識を明確にしながらまとめる方法を選択している。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 問題状況の中から課題を発見し、設定している。 (2) 課題を解決するために必要なことを判断し、情報を収集するための方法を考えている。 (3) 得られた情報を取捨選択したり、比較・分類・関連付けたりしながら整理し、課題解決にむけて考えている。 (4) 調べて分かったことについてしてや目的に応じて自分の考えをまとめ、適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 課題を解決するために、見通しをもってすすんで取り組もうとしている。 (2) 課題を解決するために、身近な人たちや地域の方たちの取組に関心を持ち、意欲的に関わろうとしている。
具体的な評価規準	<ul style="list-style-type: none"> (1) 校内田を活用した稲作栽培や資料から学習したことを通して、様々な取組やそれを支える人々の仕組みについて理解している。 (2) 米作りや環境への取組を支える組織や人々の思いや願い、工夫や努力を理解している。 (3) 自然環境は様々な要因で変化し続けていることを理解している。 (4) 校内田を活用した稲作栽培や自然環境について調べたり考えたりしたことについて、相手意識や目的意識をもち、まとめる方法を選択している。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 稲作栽培の疑問点や改善点から自分の課題を設定している。 (2) 米作りや環境への取組を支える組織や人々の仕組みについて知るために必要な情報を、手段を選択して収集している。 (3) 米作りや環境への取組を支える組織や人々の仕組みについて知るために収集した情報から必要なものを取捨選択したり、複数の情報や考えを比較・分類・関連付けたりしながら整理し、課題解決にむけて考えている。 (4) 米作りや環境への取組を支える組織や人々の仕組みについて調べて分かったことや考えたことを相手意識や目的意識をもち、適切な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 校内田を活用した稲作栽培や自然環境について自分で決めた課題を解決するために、すすんで探究しようとしている。 (2) 校内田を活用した稲作栽培や自然環境に関する探究的な活動を通して、知り得た知識や友達の考えを生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。 (3) 校内田を活用した稲作栽培や自然環境に関する探究的な活動を通して、実社会・実世界の問題の解決に取り組もうとしている。

